

ヨコハマタイヤマニュファクチャリング(タイ) CSRレポート

事業内容:トラック・バス用タイヤ、小型トラック用タイヤ、乗用車用タイヤの生産・販売

敷地面積: 417,427m²

従業員数: 1,168人(2009年6月末現在)

所在地: 7/216 Moo.6, Amata City Industrial Estate, Tambol Mapyangpom, Amphur Pluakdang,
Rayong Province 21140, Thailand
TEL:+66(38)650-350



社長ご挨拶



水本 康博

ヨコハマタイヤマニュファクチャリング(タイ)は、首都バンコクから東南へ120キロ離れたアマタシティ工業団地内に位置し、横浜ゴムの工場で最大の敷地面積を誇っています。トラック・バス用タイヤ工場、乗用車・ライトトラック用タイヤ工場のほか、小規模一貫生産工場を順次建設中です。当工場ではタイヤの品質を決める重要な工程のひとつである混練工程において、新工法を採用し、効率的に高品質なコンパウンドの生産を

実現しています。将来的には横浜ゴム最大の海外総合タイヤ生産拠点になるべく、環境貢献タイヤの生産拡大など準備を進めています。また2007年7月のISO14001認証取得以来、従業員の環境活動に対する認識が深まっており、ゼロエミッション活動や温室効果ガス削減に向けた徹底した省エネ活動など環境対応生産を実施しています。地域貢献活動としては、2008年は身体障害者の補助器具に使用されるアルミ材料の収集や、近郊の小学校での環境教育・啓発活動、ドングリからの苗づくりの指導を行っています。さらに2008年12月の「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの

2009年度環境方針

- (1) 全ての事業活動において環境に配慮します。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築、強化し、継続的な改良活動、最良の技術的、経済的実行可能な解決策によって、各種汚染(大気、水質、廃棄物)の防止策を施行させます。
- (3) 廃棄物管理目標を設定し実施します。そのために省エネルギーと省資源、廃棄物削減とリサイクル、年間環境プログラムの検証を行います。
- (4) 法律、行政指導、その他の環境規制に従います。
- (5) 全従業員が本方針を理解し、行動するよう、全社的環境情報、教育、訓練プログラムを全従業員に提供します。
- (6) 社会環境保全に貢献することで地域社会との共生を目指します。
- (7) 本方針は地域に公開します。

植樹祭は、地域住民の皆さまと5,200本の苗木を植樹しました。2009年8月に第2期植樹を行う計画です。環境マネジメントシステムの遂行とともにコンプライアンス、リスクマネジメントなどの取り組みを強化し、最新鋭の設備と地元従業員の能力を最大限に引き出し、中期経営計画「GD100」における「トップレベルの環境貢献企業」を目指して、日々の活動に取り組んでいきます。

主な地域との交流活動

リサイクル・寄付活動

車椅子や義足の材料になるアルミ屑の回収を行い、2008年11月、27kgを地元の病院に寄付しました。

その他の活動

環境教育の一環として、地元小学校に環境小冊子を寄贈しています。また、2008年12月、地域イベント「スポーツファミリーデー」へ参加しました。



病院にアルミ屑を寄付した従業員

「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトとは、横浜ゴムが創業100周年を迎える2017年までに、国内外の全生産拠点に合計約50万本の植樹を行い「杜」を作るプロジェクトです。2007年11月の平塚製造所での植樹祭を皮切りに本格的にスタートしました。



- 2008年12月：第1期植樹祭(1,400名参加、7,200本植樹)
- 2009年8月：第2期植樹会(1,100名参加、5,000本植樹)

環境データ(年度は1~12月)

項目	2007年度	2008年度
廃棄物発生量(トン)	1,791	1,579
エネルギー使用量 (原油換算：千kl)	電力	15.8
	燃料	5.2
	合計	21
温室効果ガス排出量(千トン-CO ₂)	45	50
水使用量(千m ³)	391	516

※2007年度の温室効果ガス排出量の算定は、電力排出係数：0.555kg-CO₂/kWhを使用

※2008年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用